

2025 年 7 月 2 日

消化器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「胆嚢腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA) の有用性に関する多施設共同後方視的コホート研究」への協力をお願い

消化器内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2012 年 1 月～2025 年 2 月 28 日に当科において、胆嚢腫瘍に対して EUS-FNA を施行された方

研究期間：研究機関の長の許可日～2026 年 12 月 31 日

研究目的・方法：

胆嚢腫瘍に対して EUS-FNA を施行された患者さんの臨床的背景、穿刺針の種類、合併症の有無、その後の治療方針などの臨床データをデータベース化し、後方視的に観察することで、EUS-FNA についてエビデンスの構築を図ります。

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2025 年 7 月 4 日

研究に用いる情報の種類：

年齢、性別、病名、血液検査、CT 所見、病変の大きさ、針の種類、内視鏡所見、病理所見、診断能、合併症、転帰
これらは全て日常診療で実施される項目です。

情報の取り扱い：

個人情報が削除され個人が特定されないように加工された情報を電子媒体を使用して電子メールを用いて共同研究機関から研究代表機関に集積されて研究利用されます。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としますので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表者

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科

氏名：上村 真也

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科

氏名：上村 真也

共同研究機関等：

岐阜市民病院 消化器内科 岩田 圭介

岐阜県総合医療センター 消化器内科 吉田 健作

試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

岐阜市民病院 病院長 山田 誠

岐阜県総合医療センター 病院長 桑原 尚志

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科

電話番号：058-230-6308

氏名：上村 真也

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp